

様式8

事業実績報告書

(団体名:

和み愛

)

事業名	和み愛
実施した場所	社会教育センター(まがびやの森)富麻スポーツセンター
参加者・実施回数等	母親・乳幼児・8組から10組 約20名 スタッフ5名 講師の先生 10月から3月まで 計6回
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	別紙の通り
得られた効果	別紙の通り
今後の展望	別紙の通り
事業を実施してみた 感想など	別紙の通り

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

実績報告書

団体名 和み愛

事業名

実施した場所 社会教育センター（まなびやの森）・當麻スポーツセンター

参加者・ 母親・乳幼児・8組から10組 約20名 スタッフ5名 講師の先生

実施回数など 10月から3月まで 計6回

実施した内容

10月18日

フラダンス体験（講師の先生を招く）

市内でフラダンスをされている団体の方6名（60才以上を招き交流）

11月9日

ヨガ体験（講師の先生を招く）

2交代制をとり、こどもを預け合いながらヨガをする。

その後、みんなで一緒にお弁当を食べながら話をする。

12月14日

お正月にむけての寄せ植え体験（講師の先生を招く）

2交代制で11月と同じ体制です。お弁当を食べ会話

1月 18日

親子リトミック体験（講師の先生を招く）

親子で一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かせたりする。

2月15日

ロゼット作り（勲章の名札のような物）（講師の先生招く）

参加者の人からの希望で中心になり進めてもらう。

一斉作業で和やかにママ達が会話しながら取り組んでいた。

3月15日

書道体験（講師の先生招く）・一文字体験

2交代制で好きな字、一文字習字で書く

得られた効果

- ・イベントの参加者は、母親と子供または、父親と子供が多いが、一人暮らしの60歳の男性、70歳女性も参加され、世代間交流ができた。
- ・自由時間のない母親たちが、子供と少しの間、離れて自分の趣味の時間がもつことができ、「無心になれて、有意義な時間がもてた」等の声をアンケートでいただいた。
- ・スタッフ、子供、保護者とも顔見知りになってきた。
- ・直接話せない悩みなどは、イベント終了後のアンケートや、LINE等で近況を確認したり、相談をきいたりした。

今後の課題

- ・参加者を増やすために、様々なイベントをとりいれ、つながりや楽しみがもてる場やほっとできる気持ちのゆるせる場などを作りたい。
- ・大人の趣味バージョンや子供主体の遊びバージョンの日程などにも分けてたり、大人だけが集まり、イベント活動やゆっくり話せる場の設定も考えている。信頼関係を深め、悩みの聞ける、言える、落ち着いた場作り。
- ・障がいのある子供たちも一緒に遊べる場の雰囲気を作る。

事業を実施してみた感想など

* こどもの数に対してこどもを見るスタッフが少なく2部交代制になり、ばたばたすることが多かった。悩みなどゆっくり話す時間や場がもてなかった。

* ポスターが子育て支援系であるためか大人だけの参加者がほとんど募集できなかった。

祖父母と孫のような関係ができ他人同士でも親睦がもてれば？
おたがい知恵のだしあいがでそう？というイメージはまだえがけなかった。

メリットとしてはこども連れのイベント体験にママさん達がさんかでき、みんな喜んで生き生き参加されていた。

口コミで、ママ友のつながりがふくらんだ。

* まずは、人が集まり、つながる事に目的をおいた。

次は信頼関係を深め井戸端会議ができる落ち着いた空間作り。
その中から、今考えていることやしたいこと、迷っていること、
困っていることなどを聞いていく。みんなでミーティングや自然態で個人的に話し合う方向からどうすればいいかを考えていきたい。